

学内公開講義

Today's World, Refugees and Why Should You Care: A UN Perspective

COVID-19, the war in Ukraine, climate change and many other threats to the existing world order and global economy leave no country, no citizen unaffected. Mr. Hebecker will discuss world security and the interface with tourism in today's context. Based on many years of working for the United Nations, he will focus on the UN's agenda to tackle the planet's challenges and share, in particular, his experience as a humanitarian worker for the UN Refugee Agency (UNHCR). He will also inspire you to think if and how today's global issues may relate to tourism and what all of us can contribute to making a difference for a better world.

ウクライナ情勢、Covid-19、気候変動、国際難民危機など、今日の多様な世界的脅威が私たちの社会に何を意味するのか、また、これらの問題に取り組む国連（UN）や国連難民高等弁務官（UNHCR）の活動について紹介、さらに、これらの問題が観光とどのように関係しているかを考察し、「普通の人ができること」についてもコメントします。

*本講義は観光学部授業科目「Principles of Tourism D」の一環ですが、履修者以外にも公開いたします。（参加申し込み不要）

*講義は英語で行われます。

日時 **2024年 7月 3日（水） 10:50 ～ 12:20**

会場 **東1号館 E1-205教室**

講師 **Mr. Dirk Hebecker**

**Former Representative, UNHCR Tokyo, Japan (2016-2020)
Researcher/Lecturer, Rikkyo University Tokyo, Japan**



ドイツ外務省勤務を経て、1993年にUNHCRにアソシエイト・リパトリエーション・オフィサーとしてベトナム・ハノイに駐在。UNHCRでは、ジュネーブの本部、グルジア、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュなど各国で多様な任務に携わった。ロシア連邦の人権高等弁務官事務所（OHCHR）への出向経験もある。東アジアでは、2013年から2016年まで韓国、2016年5月から2020年4月まで日本におけるUNHCR代表を務めた。国際関係学と東南アジア研究を専攻し、英語、フランス語、ロシア語、ベトナム語に堪能。2021年に国連を退職して以来、日本の様々な大学でグローバル問題、人道問題、国際関係、グローバル政治経済、国際機関に関する講義に携わっている。現在和歌山市を拠点に活動。

主催 **和歌山大学 観光学部**

観光学部サステナビリティ研究室（加藤久美教員）

問い合わせ先 **観光学部 観光実践教育サポートオフィス（西4号館 2階 K-216室）**
TEL 073-457-8553 / E-mail tourism-er@ml.wakayama-u.ac.jp